

1949 礼賛

中華民国の南遷と新生台湾の命運

楊儒賓著／中嶋隆蔵訳／四六判 360 頁／本体 2400 円＋税

1949 年——、大陸では、中華人民共和国が誕生した年である。

1949 年——、台湾では、中華民国政府がそっくり遷移してきた年であり、台湾が「全身に傷を負った」年でもある。

著者の楊儒賓は台中生まれの台湾人で、「1949」後の台湾の苦悩を知る世代であるが、本書では、1949 年の中華民国政府「南遷」をポジティブにとらえ、それによって台湾に「国家意識」が生まれ、民国の学術——中国の伝統的文化——をまるごと受け継ぎ、60 年以上をかけて民主的な新しい台湾を作り出しえたとする。（中国との）統一派からも（台湾独立を主張する）本土派からも議論が湧き出た問題の書。王徳威と陳怡蓁の「後序」を掲載する。

目次

自序（楊儒賓）

I 1949 論

1949 への礼賛

歴史の災難と文化の伝播

歴史の災難と歴史の機会

1949 と新儒家

中華民国と 1949 以後

ただに苦難の物語だけではない

II 1949 と民国の学術

1949 の大分裂と新たな漢華人文知識の再編成

東アジアという視座における台湾の人文科学

まだアンコールを求められてもいないのにアンコールに応える言葉

台湾で中華文化を語る

台湾の創造力と中華文化という夢

中華民国において「民国学術」を考える

儒家の現代性？

III 1949 と兩岸の儒学

台湾在住の儒家と台湾に渡来した儒家

兩岸の三つの地域——新中国と新台湾

瀛島百年一任公

二二八の百年祭

辛志平、鄭成功と能久親王

趙老！趙老！

IV 1949 と清華大学

なぜ清華なのか？

清華大学と民国ブーム

後人の補充を待つ

清華門の番茉莉

中華を納めて台湾に入れる（王徳威）

黄色の大地と藍色の大洋（陳怡蓁）

訳者あとがき（中嶋隆蔵）

書中所見人物生没年一覽

東方書店 【中国・本の情報館】 <http://www.toho-shoten.co.jp>

東京店舗 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ☎ 03-3294-1001 / FAX03-3294-1003 / shop@toho-shoten.co.jp

通信販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-10-2 ☎ 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955 / tokyo@toho-shoten.co.jp

関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-6-1 ☎ 06-6337-4760 / FAX06-6337-4762 / kansai@toho-shoten.co.jp